

2022年度第1回理事会報告

開催日時:2022年5月28日(土) 18:00 ~ 20:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2022年度第1回理事会」を開催するとの宣言があった。

なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、市川監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、78名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 長期会員審査

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、申請者24名全員を長期会員とすることが満場一致で承認された。

第3号議案 2022年度予算案の変更について

財務担当室田理事より、2021年度第5回理事会で承認された2022年度予算案からの変更点について、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、2022年度予算案の変更が満場一致で承認された。

第4号議案 2021年度事業報告、決算報告および監査報告(理事会ML審議済)

総務担当木下理事より、2022年度の各事業が滞りなく遂行された旨の報告があり、財務担当室田理事より法人全体および各事業における2022年度決算について詳細な報告があった。また、秋元監事ならびに市川監事より5月12日に実施された監査について報告があった。

審議の結果、2022年度事業報告、決算報告および監査報告を5月29日開催の2022年度定時社員総会に上程することが満場一致で承認された。

第5号議案 全国大会運営委員の追加委嘱について

研究担当岩崎理事より、全国大会運営委員会の第3号委員(当該年度全国大会開催校を代表する者)の追加委嘱が提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

第6号議案 『社会福祉学』J-Stage閲覧のための認証パスワードの設定について

機関誌編集担当柴田理事より配付資料に基づき説明があり、審議の結果、今年度から再度認証を設定することが満場一致で承認された。

第7号議案 地域部会委員の理事会承認および「(一社)日本社会福祉学会地域ブロック担当者委員会及び地域部会委員会規程」の改正について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があり、審議した結果、今後の方針が満場一致で承認された。

第8号議案 第8期委員会構成について(2022年度第2回理事会議題の確認)

総務担当木下理事より、第8期委員会の委員構成予定について配付資料に基づき説明があった。

第9号議案 その他

・マイページの追加機能について

会員ページ(マイページ)への追加機能について次期体制に申し送りをするようになった。

・関西地域ブロック原稿執筆謝礼(非会員)について

「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」に準じた対応で良いことから、詳細は関西地域ブロックの理事会で検討することとなった。

IV. 報告事項

1. 2022年度会員動向および2021年度退会者報告

総務担当木下理事より、2021年度年会費の納入結果について配付資料に基づき報告があった。また、2024年度に退会した会員の名簿および2015年度以降の会員数の推移を確認した。

2. 2022年度定時社員総会準備状況および当日の進行について

総務担当木下理事より、総会当日の進行について配付資料に基づき説明があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の和気副会長より、第70回秋季大会で実施する留学生と国際比較研究のためのワークショップについて説明があった。韓国および中国からの自由研究発表者の募集については、中韓両国に案内中である。また、本会から韓国および中国の大会へ派遣する自由研究発表者の募集を行うため、中韓両国に詳細な情報の提供を求めているとの報告があった。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、二次審査対象の書籍6点、論文2本が選出されたとの報告があった。次回学会賞審査委員会にて授賞候補作が選定され、理事会にて候補作の審議、承認予定であることを確認した。

7. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当倉田理事が欠席のため、総務担当木下理事より、前回理事会にて審議した二重投稿に関する研究倫理案件について報告があった。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的にTwitterを更新する等の広報活動を行っているとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事より、学会創設期の機関誌の電子化および事務局保管の古い写真の目録化等を行ったとの報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当保正理事より、第70回秋季大会で実施予定の「スタートアップ・シンポジウム」の準備状況およびCS-NETの進捗状況について、配付資料に基づき報告があった。また、日本社会福祉系学会連合と共同で実施するニーズ調査の準備をしているとの説明があった。

11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：機関誌『北海道社会福祉研究』第42号を3月末に電子ジャーナルとして刊行した。6月4日に北海道社会福祉学会の総会・講演・シンポジウムを開催予定である。「ヤングケアラーのいま」をテーマとし、多数の参加申し込みが届いている。
- ・東北地域ブロック：3月30日に幹事会を開催した。今年度の研究大会は青森県立保健大学での開催を予定している。機関誌の発行について、二重投稿防止のため、論文投稿への受理通知にて確認および注意喚起をすることとなった。

- ・関東地域ブロック:3月13日に研究大会を開催し、午前中は自由研究報告、午後にシンポジウムおよび総会を行った。また、二重投稿防止のため、チェックリストおよび投稿規程等の見直しを行っている。
- ・中部地域ブロック:4月16日の2022年度春の研究例会にて、院生・若手研究者のための勉強会、自由研究発表、シンポジウムおよび総会を開催した。6月に機関誌『中部社会福祉学研究』第13号を刊行予定である。
- ・関西地域ブロック:3月13日に若手研究者・院生情報交換会第50回を記念したテーマとして年次大会および総会を開催した。また、3月31日に機関誌『関西社会福祉研究』第8号を発刊した。現在、次号9号の発刊に向けて準備中である。
- ・中国四国地域ブロック:6月に新体制による部会委員会を開催予定である。
- ・九州地域ブロック:3月末に機関誌『九州社会福祉学』第18号を発刊した。6月に定期総会を书面開催し、7月10日に長崎国際大学にて研究大会をオンライン開催予定である。

12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績により2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

湯澤副会長より、5月29日に総会をオンラインにて開催予定であるとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

和気副会長より全体会議の報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

木下理事より、7月に会議を開催し、役員の改選が行われるとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2023年1月28日(土)にシンポジウムの開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

保正理事より、GEAHSS運営委員会の報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

議長は、議事終了を告げ、20時00分に理事会を解散した。

以上